

公益財団法人 吉田育英会
〈事業のご案内〉

YOSHIDA SCHOLARSHIP FOUNDATION



知の扉を開き 世界をより深い相互理解へ

吉田育英会が1967年に設立されてから、すでに半世紀以上のときを重ねてきました。

当会の活動は、YKKの企業精神である『善の巡環』に込められた想いを体現しています。YKKの創業者であり、吉田育英会の設立者である吉田忠雄は、「新たな価値の創造により社会に『善』を尽くし続ければ、やがて『善』は限りなく世界を巡ってゆく」という、いわば壮大な円環のイメージから、『善の巡環』という哲学を生み出しました。この想いは、今も吉田育英会の活動のなかに脈々と息づいています。

吉田忠雄は、国際的な奨学事業について語る時、「夢は起きているときに見たいもの」という言葉を好んで用いています。これは、世界へ羽ばたく若者たちを支援することが、社会の喫緊の課題であると同時に、自身が生涯を通じて見たかった「夢」であったからだと思うのです。現在、世界は価値観の分断により混迷の時代を迎えていますが、私はますます吉田忠雄が心から見たいと願った「夢」の重要性が増しているように感じています。

人は、真理の探求を通じてたくさんの知の扉を開くものです。当然、扉の先には、数々の新たな知見や人との出会いがあるはず。そして、この出会いの中こそ、世界をより深い相互理解に導く鍵があるのではないかと思います。ですから、奨学生の皆さんには迷うことなく自身が思い描く探求を存分に続けていただきたい。吉田忠雄が思い描いた「夢」も、皆さんの探求の先にも広がっているのではないかと私は考えています。

関係者各位におかれましては、当会に一層のご理解ご協力を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

吉田 忠裕

公益財団法人吉田育英会
理事長

【奨学金の理念】

吉田育英会は、未来のリーダーとして国際舞台で活躍し、成果を社会に還元できる人材の育成を目指しています。優秀な学生が、勉学や研究のチャンスに心置きなく挑戦できるよう、進学に先だって選考・採用を行い、高水準で返還不要な奨学金を提供します。

【設立者 吉田忠雄と『善の巡環』】

YKKの創業者吉田忠雄は、事業をすすめるにあたり、企業は社会の重要な構成員であり、共存してこそ存続でき、その利点を分かち合うことにより社会からその存在価値が認められると考えました。YKK精神『善の巡環』は、「他人の利益を図らずして自らの繁栄はない」という吉田忠雄の考え方です。

吉田忠雄は、世界を視野に入れた事業活動を通じて、国際舞台で活躍できる人材を広く育成、教育することが重要であるとの強い想いに至り、1967年に当会を設立いたしました。



吉田育英会設立者・吉田忠雄 略歴

- 1908年 富山県魚津市に生まれる
- 1934年 YKKの前身となるサンエス商会を東京・日本橋に創業
- 1945年 東京大空襲により魚津に疎開、再興を図る
- 1954年 富山県黒部市にファスナー一貫生産工場建設着手
- 1959年 ニューゼーランドに第一号海外現地法人を設立
- 1961年 アルミ建材の生産・販売を開始
- 1974年 米国ジョージア州で海外初のファスナー一貫生産工場稼働
- 1984年 社長として創業50年を迎える
- 1993年 逝去(84歳)

【国内プログラム】

■ 大学院生給与奨学金〈マスター21〉

国内の大学院修士課程(博士前期課程)において自然科学系分野を専攻する日本人学生に対し、在学中の奨学金を支給します。

■ 大学院生給与奨学金〈ドクター21〉

国内の大学院博士後期課程において自然科学系分野を専攻する日本人学生に対し、在学中の奨学金を支給します。

【国際プログラム】

■ 日本人派遣留学プログラム

海外の大学院博士課程等に留学し、人文・社会科学系または自然科学系分野を専攻する日本人留学生に対し、奨学金を支給します。

■ 受入留学生給与奨学金〈YKK リーダー21〉

日本の大学院において自然科学系分野を専攻する外国人留学生に対し、在学中の奨学金を支給します。

■ カーターセンターインターンシップ奨学生

カーターセンターは、カーター元米大統領によって設立された国際NGOです。インターンとして調査研究に携わる日本人留学生を同センターに派遣し、奨学金を支給します。

■ フルブライト奨学金

日米教育委員会の実施するフルブライト・プログラムを通じて、日米の奨学生に対して奨学金を支給します。

私は若いときから、チャンスには迷わず飛び込むことを心掛けてきました。学部3年時に自ら手を挙げて企業との共同研究に参加し、修士課程までの4年間は研究に没頭していました。マスター21で支援していただいたのもこのときです。そこで得られた経験は、飛び込んだからこそ得られたもので、何ごとにも代え難く、あの経験があったからこそ今の自分が形成されているのだらうと思います。奨学生の皆さんも、迷ったときにはあえて厳しい道を選ぶという選択肢があることを忘れないでください。

厳しい道を選ぶという 選択肢があることを意識

岡田 真希 (おかだ まき)さん
2007年度採用 / マスター21
奨学期間中の在籍大学：
明治大学大学院 農学研究科 生命科学専攻



新材料を創出し 持続可能な社会に貢献

小林 洋一 (こばやし よういち)さん
立命館大学 生命科学部 応用化学科 教授
2009年度採用 / ドクター21
奨学期間中の在籍大学：
関西学院大学大学院 理工学研究科化学専攻



私が研究しているのは、「光エネルギーを有効に活用できる新しい機能材料の創出」と「今まで誰も見たことのない光機能の探求」です。その成果の一つが、フォトクロミズムという現象を応用して、新材料の創出に成功したことです。人間の目にも見える現象を手掛けることで、研究の可能性が広がり、社会に研究の意義を伝えるうえで視覚的な効果が重要であることにも気づきました。このような材料で効率的なリサイクルを実現し、持続可能な社会に貢献することが、目指す一つのゴールです。

海外を経験しておきたいという思いが強くなっていたときに、吉田育英会の募集を見つけて、進むべき道がパッと開けた感じがしました。留学先では、優秀な人たちが研究室に寝袋を持ち込み寝食を惜しんで研究に打ち込む姿を見て、敵わないなと思いましたが、他の部分でなら勝てるという実感が持てたことで、研究を続けていけると確信できました。今は学生を指導する立場になりましたが、学生には自由裁量を与えて主体性を求め、失敗は咎めず、挑戦を促すよう心掛けています。

敵わないと思った人たちに 勝てる領域を見つけ自信に

比田井 洋史 (ひだい ひろふみ)さん
千葉大学大学院 工学研究科 機械工学コース 教授
2006年度採用 / 日本人派遣留学プログラム
奨学期間中の在籍大学：
カリフォルニア大学バークレー校



Don't waste time trying to be the best

Ega Dioni Putri さん
Asia 100*/Awarded in 2011
University during scholarship period:
Graduate School of Media and
Governance, Keio University
* Predecessor of YKK Leader 21



My journey in Japan started from graduate school in Cyber Informatics at Keio University SFC. I applied for a general program (not international), with neither a clue about scholarships nor links to seniors, simply because my hunt for a research field matched a professor there. After learning that I was unable to find a study grant due before March, this professor recommended that I apply to the Yoshida Scholarship Foundation. Being a YSF scholarship awardee was the best thing I could ever have asked for to get myself through a master's degree with a perfect GPA. As selected scholars, we shouldn't waste time trying to be the best.

大学卒業後、私は平和構築に携わる国際組織でキャリアを積みたくて考えていました。その扉を開いてくれたのが、吉田育英会とのお縁です。カーターセンターでの経験を通じて、多様なアクターの絡み合いが国際社会の力関係を形成する現状とともに、深い信頼に裏打ちされた人間関係があれば、危機的状況を乗り越えられることを学びました。その後、ミャンマー、スーダン、ナイジェリアなどの人道支援活動の現場では、「信頼関係の構築」を大切にしてきました。社会的発展は、個々が互いの違いを認め、その多様性から学び合い、対話を忍耐強く続けることから生まれると思います。その原動力になることが、私の願いです。

多様性の認識を通じた 信頼関係から生まれる 社会の発展

梶野 杏奈 (かじの あんな)さん
2014年度採用
カーターセンターインターンシップ奨学生

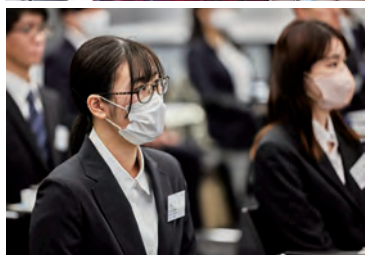




【交流事業】

吉田育英会では、奨学生を対象に交流事業を実施しています。交流会や研修旅行等の機会を通じて、奨学生が互いの理解を深めることで、奨学期間終了後も末永い交友を結ぶことを期待しています。交流会では会友（OB・OG）の皆さんから現役の奨学生にアドバイスや励ましの言葉をいただくこともあります。

また、交流事業の一環として、会報誌「環[WA]」を発行しています。新規採用者の紹介や交流会のレポート、会友による座談会やインタビュー等の記事を掲載し、誌面が奨学生や会友の皆さんの交流の場となることを目指しています。





*Yoshida
Scholarship
Foundation*

<http://www.yssf.or.jp>

公益財団法人 吉田育英会

〒130-8521 東京都墨田区亀沢3-22-1 YKK60ビル内

Tel: 03-5610-8103 Fax: 03-5610-8104

Mail: webmaster@ysf.or.jp

2023/07/01